

### 平成 28 年 光遍寺行事予定

カレンダーに記入し、一度でも多く  
光遍寺にお参りください!

#### 3月17日(木)、20日(日)、24日(火) 春の彼岸会

ご先祖に感謝し、自らが仏縁にあう尊い仏教強化週間です。三日間とも、夜7時30分からお勤めが始まります。

#### 4月16日(土)、17日(日) 春の永代経

今の私があるのはご先祖のお陰です。仏となられたご先祖の声に耳を傾け、子や孫にお念仏を永代まで相続していくお勤めです。  
昼座：午後2時～ 夜座：午後7時30分～  
【布教使】生駒市 西教寺 藤本文隆 先生

#### 6月?日 法灯の宴

カラオケ、福引などの楽しい催しが行われます。一人でも多くの方に光遍寺に足を運んでいただくために開催されます。

#### 8月10日(水)、11日(木) お盆の永代経

昼座：午後2時～ 夜座：午後7時30分～  
\*11日夜座には仏教婦人会による無縁仏のお勤めがあります。  
【布教使】御所市 正福寺 冬野正隆 先生

#### 9月19日(月)、22日(木)、25日(日) 秋の彼岸会・天皇会

春の彼岸会と同様に、三日間とも夜7時30分からお勤めが始まります。  
\*22日は午後7時より後醍醐天皇陵にて讃仏偈をお勤めします。

#### 9月20日(火)、21日(水) 第39回 光遍寺念仏奉仕団

参加申し込みは後日行います。

#### 10月15日(土)、16日(日) 報 恩 講

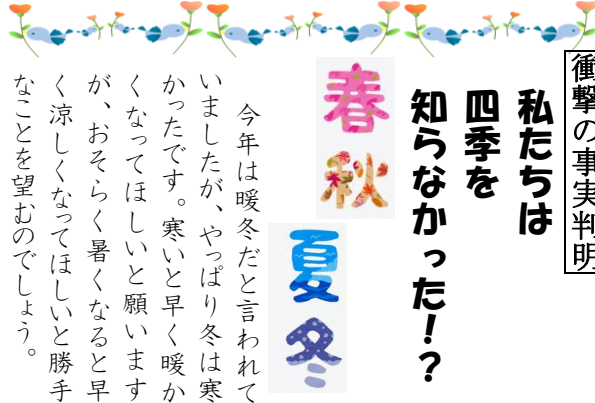
昼座：午後2時～ 夜座：午後7時30分～  
\*15日昼座後にはお齋(事前申し込み必要)があります。  
【布教使】奈良教務所長 藤田信証 先生

#### 11月8日(日) 第25代専如門主 伝灯奉告法要 吉野南組団体参拝

本願寺新門主の住職継職をお祝いする法要です。吉野南組寺院の門徒が本願寺に団体で参拝します。バスでの日帰り参拝を予定しています。参拝申し込みは後日行います。

#### 12月31日(土)、1月1日(日) 除夜会・修正会

午前0時より梵鐘を撞き始めます。



### 衝撃の事実判明

私たちは  
四季を  
知らなかった!?

今年はずいぶん暖冬だと言われていますが、やっぱり冬は寒かったです。寒いと早く暖かくなってほしいと願いますが、おそろしく暑くなると早く涼しくなってほしいと勝手なこと望むのです。

親鸞聖人の尊敬する中国の僧侶に曇鸞(どんらん)大師という方がいらっしゃいます。親鸞の「鸞」の字は、曇鸞大師から取られていますので、いかに尊敬されていたかが分かります。その曇鸞大師のお言葉に「蟋蟀(けいこ)春秋を知らず」という有名な一節があります。蟋蟀とはセミのことです。私たちにとってみれば、セミの鳴き声は夏の風物詩ですが、七年間地中で暮らし、夏に地上に出て、夏に命を終えていくセミは、そもそも夏を知らないのです。

蟋蟀とは私たちがこの言葉の深みが味わえます。私たちは、常に自分の見ていること、自分の感じていることが全てであると信じて生きています。自分の価値観で他人を評価し、違う見方や考え方があることを知らずに苦しんでいます。また、この世に生まれ、そして

死んでいくために、この世が全てだ。死んでしまえば終わりだ。」と戦々恐々としながら生きています。  
四季を知らないセミを、私たちが哀れに思うのと同じように、狭い世界で息苦しく生きている私たちを、先に仏となられたご先祖が阿彌陀如来と一体となって、哀れみ、悲しみ続けておられます。そして、どうか「本当のこと」に目覚めてほしいと願っています。

その願いに気づく方法は  
「聴聞」です。浄土真宗の教えは、「聴聞」に尽きると言われます。「聴聞」とは、仏様の話を聞かせていただくことです。機会あるごとに、お寺にお参りし、仏様の話を聞いてください。  
左に平成二十八年度の光遍寺行事予定をお知らせします。上記の意味からも、お寺はお年寄りだけが行く場所ではありません。老若男女問わず多くの方々が「聴聞」し、「本当のこと」に気づく機会としていただければと思います。



第 26 号  
発行所  
〒638-0315  
奈良県吉野郡  
天川村沢原 141  
浄土真宗  
本願寺派  
仏照山  
光遍寺  
電話番号  
0747-63-0638  
ホームページ  
http://www.kouhenji.org

今月の法語  
私であつてよかった  
私がいえる  
あなたになれ  
(中島みどり)

# 伝灯奉告法要って何？



本年十一月八日(日)に、伝灯奉告法要の吉野南組団体参拝が決定いたしました。

そもそも伝灯奉告法要とはどのような法要なのでしょう？「伝灯」とは「浄土真宗のみ教え(法灯)を伝承し、受け継ぐことです。つまり、本願寺ご門主のお代替わりをするにより法灯を伝承し、そのことを仏祖の御前に奉告する法要です。本願寺のご門主が交代する際に行われる法要とも言えます。

前回行われたのは、一九八〇年(昭和五十五年)、三十六年前のこと、さらにその前は、一九三三年(昭和八年)、八十三年前のことになります。だいたい、三十年から四十年に一度の貴重な機会です。

親鸞聖人七五〇回忌の団体参拝とは異なり、日帰りで参拝を計画しております。貴重なご縁ですので、内外を問わず、光遍寺門信徒の方々は、奮ってお参りください。

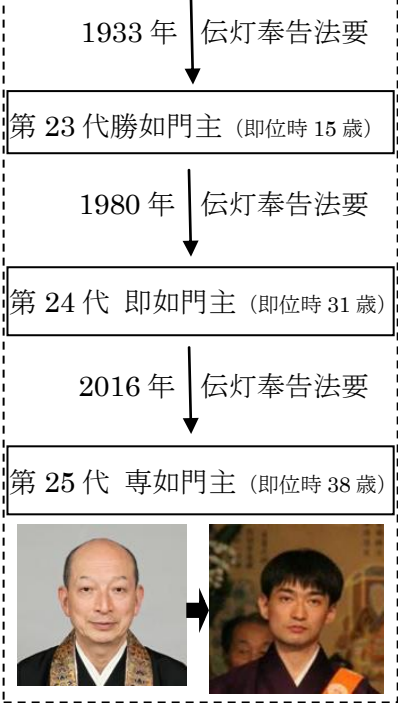
詳細(行程・費用など)が決まりましたら、正式に参拝者を募集いたします。

## 第 38 回 光遍寺念仏奉仕団

### 個人表彰者

- 坂口 杉子 様 25 回表彰
- 堀井 里江 様 20 回表彰
- 本谷 彰子 様 10 回表彰

おめでとうございます。ご苦労様でした。



## 阿弥ちゃん!!

聞いてもすぐに忘れちゃうし...  
法話の意味がわかりません...

ザルには水は入れられません  
みんな一緒ですよ。私たちに例えられます

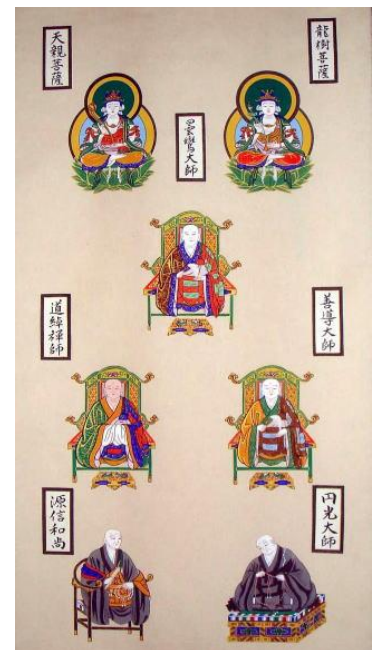
でもザルをそのまま水につけてしまえばザルに水は満たされず  
仏様のお話はそのまま聞かせていただくのです

私はザルだったんだ!  
まあザル年ですからね  
ザルですよ...

## 門信徒広場

「浄土真宗の開祖は？」と聞かれれば、門信徒であれば誰もが「親鸞聖人」と答えると思います。教科書にものっている歴史的事実ですが、当の本人である親鸞聖人は自分で浄土真宗を開いたとは思っておられないようです。あくまでも、自分の尊敬する七人の高僧方の教えをまとめて味わっただけというのが、親鸞聖人のお考えです。七人の高僧というのは、龍樹菩薩、天親菩薩、曇鸞大師、道綽禪師、善導大師、源信和上、源空聖人の方々です。この方々はインド、中国、日本の三国の高僧です。ここで問題です。どの方がインドで、どの方が中国で、どの方が日本の高僧でしょうか？次の組み合わせの中から正しいもの一つを選んでください。

- ① インド：源信和上、源空聖人  
中国：龍樹菩薩、天親菩薩  
日本：曇鸞大師、道綽禪師、善導大師
- ② インド：龍樹菩薩、天親菩薩  
中国：曇鸞大師、道綽禪師  
日本：善導大師、源信和上、源空聖人
- ③ インド：龍樹菩薩、天親菩薩  
中国：曇鸞大師、源空聖人  
日本：道綽禪師、善導大師、源信和上
- ④ インド：源信和上、源空聖人  
中国：龍樹菩薩、天親菩薩  
日本：曇鸞大師、道綽禪師、善導大師
- ⑤ インド：龍樹菩薩、天親菩薩  
中国：曇鸞大師、道綽禪師、善導大師  
日本：源信和上、源空聖人



七高僧の御影

分かった方は、光遍寺までご連絡ください。先着数名様に記念品をお渡しします。  
<ヒント> 右の七高僧の図をよく見れば、わかります(円光大師=源空聖人)